

光硬化型接着剤特性表

特徴	製品名	主成分	色	粘度 (mPa・s)	表面硬化 時間(秒) ^{注1}	引張・剪断強度 (N/mm ²) ^{注2}	硬度 ^{注3} (ショアD)	硬化 特性	推奨 プライマー類	容量	製品番号
紫外線 硬化型	3108	アクリル系	透明	3,600～ 6,600	-	≥ 5.5 ^{注10}	72 (ショアA)	紫外線硬化	-	1L	28465
	322	アクリル系	透明	4,200～7,000	5	4～11	76	紫外線硬化	-	1L	23843
	349	アクリル系	透明	6,000～13,500	30	11	70	紫外線硬化	-	1L	36910
	350	アクリル系	こはく	3,500～6,000	35	4.8 ^{注4}	68	紫外線硬化	-	50ml 1L	39253 39252
	363	アクリル系	透明	100～400	25	3～12	79	紫外線硬化	-	1L	41021
	3751	アクリル系	淡黄色	3,600～7,000	1	≥ 5.2 ^{注4}	74	紫外線硬化	-	1L	23701
	151760 (326 UVBlue)	嫌気性	青	8,000～20,000	20	21 ^{注5}	72	嫌気硬化付加	7649	1L	35191
	366 (326LVUV)	嫌気性	淡黄色	5,000～10,000	25	10	74	嫌気硬化付加	7649	1L	35188
	352	嫌気性	こはく	15,000～26,000	10	16.5 ^{注6}	69	嫌気硬化付加	7071	250ml 1L	32696 32700
	358	嫌気性	透明	2,000～3,000	20	≥ 10	-	嫌気硬化付加	7471	250ml	35855
	3851	嫌気系	淡黄色	3,000～7,000	12	8～26	68	嫌気硬化付加	7649	250ml 1L	37433 40762
	3504 (LI-504)	嫌気性	こはく	800～1,300	35	10	75	嫌気硬化付加	7649	1L	35193
	3052 (LID-1316)	嫌気性	淡黄色	2,750～5,000	10	≥ 15 ^{注7}	83	嫌気硬化付加	7649	1L	37367
	3523 (LX-3521)	嫌気性	こはく	16,000～24,000	10	19	69	嫌気硬化付加	7071	250ml 1L	35189 35190
3754 (LI-754)	嫌気性	こはく	3,000～5,000	15	≥ 13 ^{注7}	73	嫌気硬化付加	7649	1L	36143	
紫外線 可視光 硬化型	3103	アクリル系	淡黄色	8,000～ 14,500	-	11 ^{注8}	53	紫外線・ 可視光硬化	-	1L	42620
	3104	アクリル系	透明	90～210	-	21.8 ^{注8}	75	紫外線・ 可視光硬化	-	1L	23693
	3105	アクリル系	透明	200～400	-	25.1 ^{注8}	73	紫外線・ 可視光硬化	-	1L	23696
	3106	アクリル系	透明	3,500～ 7,500	-	5.2 ^{注9}	61	紫外線・ 可視光硬化	-	1L	34651
リレー・ スイッチ 封止用	3016	アクリル系 / エポキシ系	黄色	3,000～ 6,000	-	26 ^{注11}	11 ^{注12}	加熱硬化併用	-	1kg	24708

注1 高圧水銀灯 100mW/cm² @ 365nm照射 (UVL-1500LT 使用) 時での表面硬化時間の代表値を示す。

注2 ガラス/鋼ピンを使用し、ISO 6922に基づき試験した引張り強度の代表値を示す。

注3 JIS-K-7215 (デュロメーター D) に準拠した硬度の代表値を示す。

注4 ガラス/ガラスエポキシを使用し、ASTM D 1151に基づき試験した剪断強度の代表値を示す。

注5 鋼ラップシエアを使用 (片面アクチベーター処理) し、ASTM D 1002に基づき試験した剪断強度の代表値を示す。

注6 ガラス/鋼ブロックを使用し、ISO 13445に基づき試験した剪断強度の代表値を示す。

注7 鋼ラップシエアを使用 (片面アクチベーター処理) し、ISO 4587に基づき試験した剪断強度の代表値を示す。

注8 ポリカポネートを使用し、ISO 4587に基づき試験した剪断強度の代表値を示す。

注9 材料破壊を示す。

注10 ポリカポネートブロックを使用し、ISO 13445に基づき試験した剪断強度の代表値を示す。

注11 鋼ラップシエアを使用し、135℃で1時間養生後、室温で測定 (ISO 4587)

注12 ISO 868

医療用紫外線・可視光硬化型接着剤特性表

特徴	製品名	主成分	色	粘度 (mPa・s)	剪断強度 ^{注1} (N/mm ²)	硬度 ^{注2} (ショアD)	硬化特性	特性	ISO 10993	容量	製品番号
紫外線可視光硬化型	3201	アクリル系	透明	2,500 ~ 5,000	11.7	67	紫外線可視光硬化付加	ポリカーボネート、アクリル、塩ビ、ガラス、金属に適す	○	1L	34648
	3211	アクリル系	透明	8,000 ~ 14,500	11	53		○	1L	19731*	
	3301	アクリル系	透明	90 ~ 210	5 ^{注3}	75		ポリカーボネート、軟質塩ビに適す	○	1L	19734
	3311	アクリル系	透明	200 ~ 400	5.2 ^{注3}	73		ポリカーボネート、軟質塩ビに適し柔軟性有り	○	1L	41112
	3321	アクリル系	透明	3,500 ~ 7,500	5.2 ^{注3}	61		○	1L	34649	
	3554	アクリル系	薄黄緑透明	200 ~ 400	≥ 20.7 ^{注4}	75 ^{注6}	紫外線可視光硬化付加、LED硬化可能	ポリカーボネート、軟質塩ビに適す	○	25ml 1L	1072199 1072198
	3555	アクリル系	薄黄緑透明	700 ~ 1,300	≥ 12.4 ^{注4}	77 ^{注6}			○	25ml 1L	1072221 1072200
3556	アクリル系	薄黄緑透明	3,500 ~ 6,500	≥ 12.4 ^{注4}	68 ^{注6}	○			25ml 1L	1072223 1072222	
紫外線硬化型	3381	アクリル系	透明	3,600 ~ 6,600	≥ 5.5 ^{注4}	≥ 72 (ショアA) ^{注5}	紫外線硬化	各種プラスチックに適す	○	1L	24690

注1 ポリカーボネートを使用し、ISO 4587に基づき試験した剪断強度の代表値を示す。

注2 JIS-K-7215 (デュロメーターD)

注3 材料破壊を示す。

注4 ポリカーボネートブロックを使用し、ISO 13445に基づき試験した剪断強度の代表値を示す。

注5 ISO868 (デュロメーターA)

注6 ISO868 (デュロメーターD)

*は受注発注品のため、納期はご確認ください。

電磁スペクトル
The Electromagnetic Spectrum

